

令和元年5月4日（土曜）長崎新聞

抗凝固薬と歯科治療

※日本歯科医師会PR
キャラクター「よ坊さん」と県歯科医師会の
「歯っぴい龍（じゃ）」



回答者 県歯科医師会
医療情報委員会

【問】昨年、脳梗塞を起こしたため「ワーファリン」（血液を固まりにくくする抗凝固薬）を服用しています。歯が痛いので歯医者に行こうと思っていますが、服用は中止した方がいいですか。（長崎市、72歳男性）

【答】心臓弁膜症の治療で人工弁手術を行った人や、不整脈の一種である心房細動のある人は、心臓の中で血液の塊（血栓）がでやすくなっています。血栓は人工弁の障害や脳梗塞、血栓塞栓症（血栓で血管が詰まる病気）の原因になり、予防のためワーファリンを服用します。

ワーファリンを服用しているときに抜歯を行うと、出血が止まりにくいいため、以前は休薬してから抜歯していました。しかし、休薬は血栓塞栓症のリスクが大きくなるため、現在は服用したまま抜歯を行うことが望ましいとされています。

ワーファリンを服用している人は、血液検査で凝固しやすいさを調べるトロンプテスト（PT）や、止血時間を調べるPT



服用しながら抜歯可能

—INRなどの数値が出ていると思います。こうした検査で、歯科治療可能と判断される数値の範囲内にあれば、ガーゼなどによる十分な圧迫止血や緊密な縫合で抜歯できるとされています。多数の歯の抜歯や持続して圧迫しにくい部位の治療では、止血用シーネ（入れ歯のようなもの）を事前に作っておくなどの処置をします。

一方、薬が効きすぎていて止血が困難と判断した場合などは、歯科医師が処方医に減薬可能か相談します。ご自身の判断で休薬や減薬は決まらずに行わないようにしてください。

ワーファリン服用中であることは、必ず歯科医師に伝えてください。

歯周病患者は循環器疾患を発症しやすいことが分かっています。循環器疾患を持つ人は、かかりつけの歯科医師の下で定期的な歯科検診を心掛けてください。治療の必要がある場合はしっかりと歯科治療を受け、口の中を健康に保ちましょう。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。